

**芙蓉総合リース株式会社第31回無担保社債
(サステナビリティボンド)(別称:芙蓉CSVボンド)
の引受けについて**

今般、みずほ証券株式会社(取締役社長:浜本 吉郎)は、芙蓉総合リース株式会社が発行するサステナビリティボンド(以下「本サステナビリティボンド」といいます。)の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本サステナビリティボンドで調達された資金は、その全額を(1)太陽光発電所への出資資金のリファイナンス、(2)御茶ノ水ソラシティ取得資金のリファイナンス、(3)高齢者向け施設の取得資金のリファイナンスに充当する予定です。

芙蓉総合リース株式会社は、サステナビリティボンドの発行のために「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021年版」^{※1}「グリーンボンドガイドライン2020年版」^{※2}「ソーシャルボンド原則(Social Bond Principles)2021年版」^{※3}「サステナビリティボンド・ガイドライン(Sustainability Bond Guidelines)2021年版」^{※4}に即したサステナビリティボンド・フレームワークを策定し、その第三者評価として株式会社日本格付研究所から「JCRサステナビリティボンド評価」^{※5}の最上位評価である「SU1」を取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集・お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{※6}とパートナー契約を締結しています。その後2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はサステナビリティボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。

また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

- ※1 国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドライン。
- ※2 グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が 2017 年 3 月に策定・公表し、2020 年 3 月に改訂したガイドライン。
- ※3 ICMA が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会（Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee）により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドライン。
- ※4 ICMA により策定されているサステナビリティボンドの発行に係るガイドライン。
- ※5 サステナビリティボンドの発行により調達される資金がグリーンボンド原則及びソーシャルボンド原則に例示されるプロジェクト等に充当される程度並びに資金使途等に係る管理、運営及び透明性確保の取り組みの程度に関する JCR の総合的な意見の表明。本サステナビリティボンドの「JCR サステナビリティボンド評価」は以下の JCR のホームページに掲載されている。
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>
- ※6 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100 兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行う。